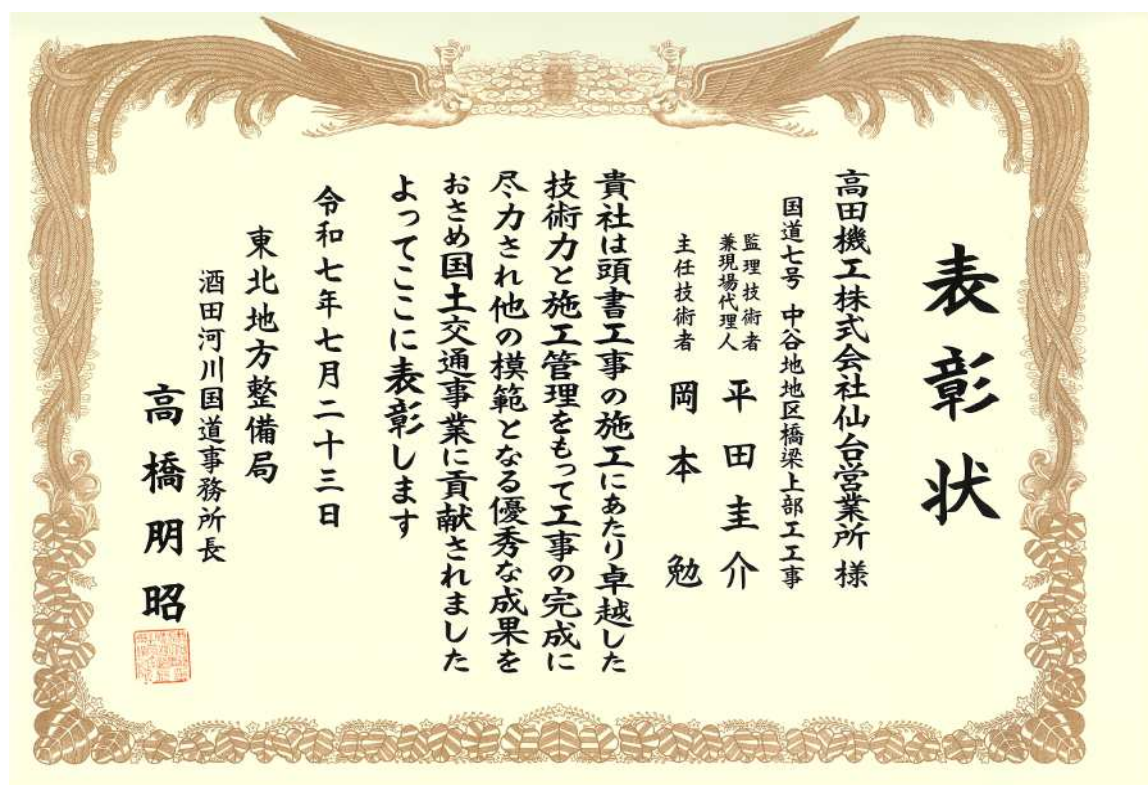


東北地方整備局 酒田河川国道事務所長より優良工事表彰を頂きました



優良工事施工者表彰



優良工事技術者表彰

○ 工事諸元

工事件名	： 国道 7 号 中谷地地区橋梁上部工工事
施工場所	： 山形県飽海郡遊佐町直世字水田 ～ 山形県飽海郡遊佐町吹浦字物見峠
橋梁形式	： 鋼 5 径間連続箱桁橋
橋 長	： 3 5 6.0 m（最大支間長 8 8.0 m）
幅 員	： 1 2.8 m
鋼 重	： 1, 9 8 6 t
架設工法	： 送り出し工法、ベント併用トラッククレーン工法
工 期	： 令和5年3月2日～令和7年3月31日

○ 工事概要

本工事は、一般国道 7 号「遊佐象潟道路」（日本海沿岸東北自動車道）事業のうち、遊佐鳥海IC（仮称）間に架かる吹浦高架橋（仮称）の一部で鋼橋上部工の工場製作・輸送・架設までを行った。

橋梁形式は鋼5径間連続箱桁橋、橋長356m（P19～A2間）で、P19～P21間の2径間をベント併用トラッククレーン工法での架設、P21～A2間の3径間を送出し工法によって架設した。最大支間長は送出し架設部分の88mで、総鋼重は1,986 t である。

この事業が完成すると、災害時の緊急輸送と速達性の確保、観光振興の支援、重要港湾酒田港へのアクセス強化、及び第三次緊急医療施設への搬送時間短縮等の効果が期待される。

○ 技術者からのコメント

工場製作主任技術者：岡本 勉

工場製作は溶接の品質確保が重要であり、特に狭隘となる支点部の溶接作業は十分な事前検討が必要でした。今回はVR技術での検討を行い、実施工に近いVR空間内での検討により、溶接品質の更なる品質向上に努めました。

現場代理人・監理技術者：平田 圭介

本工事は、2径間をトラッククレーンベント工法、3径間を送出し工法による架設を行いました。

最新のMR技術を駆使して無事故で工事を完了することができました。

関係者の皆様、ご指導ありがとうございました。



施工状況



完成状況